

※ 学習成果 ⇒ ①+②の要素で表現	科目名	② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力							
		(コミュニケーション能力) 自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとき、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	(情報活用能力) 情報通信技術を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	(総合的問題思考力) 持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	(論理的思考力) 論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	(能動的学習姿勢) 自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	(倫理観、社会的責任の自覚) 高い倫理観を持って、社会に対して主体的に関与する責任を自覚している。	(科学と技術の基礎理解) 広範な自然科学および科学技術の基礎を、その原理から深く理解し、自然と都市社会の共存を目指した両者の融和を考えることが出来る幅広い教養を身につける。	
① 分野固有の知識・理解及び技術	(語学分野) 論文読解、論文公表、学会発表など実践的な英語を習得する。	実践英語Ⅰ a,b,c,d ○							
		実践英語Ⅱ a,b,c,d ○							
	(教養分野) 幅広い知識を身に付け、多角的な視点を習得する。	基礎ゼミナール ○	○	○	○	○	○	○	○
	(数学・物理・情報分野) 機械工学の基礎となる数学・物理学・情報処理を習得する。	微分積分Ⅰ・Ⅱ 線形代数Ⅰ・Ⅱ 解析入門Ⅰ・Ⅱ 確率統計 教養基礎物理Ⅰ・Ⅱ 物理学実験第一 情報リテラシー実践Ⅰ		○	○	○	○	○	○
	(基礎分野) 機械工学の基礎を習得する。	工業の力学A 材料力学第一A 機械力学A 流体力学第一 熱力学第一 工学の数理 機械の制御			○	○	○	○	○
	(専門分野) より専門性の高い機械工学を習得する。	バイオメカニクス 機械の要素 材料科学工学 計測工学 材料力学第二A 熱力学第二 メカトロニクス 流体力学第二 伝熱工学 燃焼工学 振動工学 機械数値計算法 バイオエンジニアリング 機械英語第一・第二 生産工学 材料加工学 固体力学 ロボット設計論 内燃機関工学 環境材料学 気体力学 数理流体工学演習 トライボロジー 先端制御工学 機械システム工学 ライフサイクル設計論 機械の化学 機械工学先端講義第一・第二 工学倫理 知的財産権			○	○	○	○	○
	(実習分野) 実験や演習など、実践的能力・技能などを習得する。	機械工作実習 ○ 機械工学実験第一、第二 ○ 機械CAD製図 ○ 機械設計製図 ○ 独創機械設計 ○ 工業の力学演習 ○ 材料力学演習 ○ 機械力学演習 ○ 流体力学演習 ○ 熱力学演習 ○ 工学の数理演習 ○ 企業研修 ○ インターンシップ ○	○		○	○	○	○	○
	(総合分野) 卒業研究を通じて総合的能力、研究力、コミュニケーション力を習得	卒業研究 ○ 卒業研究ゼミナール ○	○	○	○	○	○	○	○